

公益財団法人アシュラン国際奨学財団

2023 年度（秋期） 一般奨学金募集要項

【趣旨】

アシュラン国際奨学財団は、志操堅固・学力優秀でありながら、経済的理由により学業の継続が困難なアジア諸国からの私費外国人留学生に対する奨学援助を通じ、アジア諸国間の友好親善及び人材の育成に寄与することを目的としています。



ASSURAN International Scholarship Foundation
公益財団法人アシュラン国際奨学財団

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 三井物産ビルディング
TEL: 03-5561-3111 FAX: 03-5561-3112

アシュラン国際奨学財団は、健康で豊かな明日のアジアを担う原動力になることを願って、アジア諸国からの留学生を応援しています。

1. 奨学金の概要

- (1) 支給金額：月額 10 万円（給付型）
- (2) 支給期間：2023 年 10 月～2025 年 9 月
但し、各課程の最上級年次者で、引き続き上級課程に進学しない場合は標準修業年限内の卒業までとする
- (3) 支給方法：本人名義の銀行等の預金口座に振込
なお、支給開始は採用決定後、10 月に遡及して行います
- (4) 採用人数：15 名程度
- (5) 併願併給：他の奨学金或いはそれに類する金銭との併願、併給はできません
但し、金銭の総額が文部科学省外国人留学生学習奨励費相当額までは可能とする
- (6) 卒後進路：就職、その他一切は本人の自由とする
- (7) 応募方法：大学を通じて募集し、学生からの直接応募は受け付けない

2. 応募資格

以下の項目をすべて満たしていることが必要である（令和 5 年 10 月 1 日時点）

- (1) 国籍：日本以外の国籍を有するアジア諸国から来日の私費外国人留学生
〈対象国〉 韓国・中国・台湾・香港・マカオ・モンゴル・インドネシア・カンボジア・シンガポール・タイ・フィリピン・東ティモール・ブルネイ・ベトナム・マレーシア・ミャンマー・ラオス・インド・スリランカ・ネパール・パキスタン・バングラデシュ・ブータン・モルディブ・アフガニスタン・イラン・ウズベキスタン・カザフスタン・キルギス・タジキスタン・トルクメニスタン
- (2) 在留資格：原則として「留学」、且つ日本国内に居住している
- (3) 年齢在籍：35 歳以下で日本国内の大学・大学院の正規課程に在学している
- (4) 修学期間：現課程の標準修業年限終了までの期間が 1 年以上ある
但し、卒業後引き続き上級課程に進学する場合を除く
- (5) 経済状況：修学のために経済的援助を必要としている
- (6) 成績健康：学業、人物ともに優秀で健康である
- (7) 日本語力：日本語での意思伝達が十分可能（日本語能力試験 2 級相当）である
- (8) 国際交流：国際理解と国際友好親善に寄与でき、当法人主催の奨学生交流会に必ず出席できる

3. 奨学金の選考・決定

- (1) 選考方法：応募書類等の確認を兼ね対面面接を行い、本法人に設置する奨学生選考委員会の選考を経て、理事会の承認をもって決定する
- (2) 選考結果：10 月中に大学及び本人へ通知する（不採用者には通知しない）
なお、選考結果に関する問い合わせには対応出来かねます

4. 出願手続

(1) 応募書類

応募書類	対象者・様式	言語・その他
一般奨学金申請書	全員 様式 1	日本語、自筆
履歴書	全員 様式 3-①	日本語、自筆
資格証明書類	有資格者 コピー	日本語
身上書	全員 様式 4-①	日本語、自筆
身上書の別紙	全員 様式 5-①	日本語、自筆
推薦状	全員 A4 用紙 1 枚 程	学部長又は指導教員の自筆・PCによる 封書 英文の場合は日本語翻訳を添付
成績証明書	全員 原本	現課程が入手不可の場合は、前過程又は 入学試験の成績・順位が分かるもの。 また GPA が分かるものがあれば添付
学業状況（予定）表	学部生・新入大 学院生 様式 6	日本語、自筆・PC
研究業績（予定）表	大学院生 様式 7	日本語、自筆・PC 論文投稿、学会発表資料の上部及び研究 業績（予定）表に同じ番号を付す
在学証明書	全員 原本	現課程のもの 新入の場合は「合格証明書」又は「合格 通知書」を提出
在留カード	全員 コピー	表裏
顔写真（2 枚）	全員 5cm×4cm	3カ月以内の上半身正面近影カラー写真 1 枚は「一般奨学金申請書」に貼り、もう 1 枚は同封

(2) 応募書類の記入要領

書類の記入不備や不足等は審査対象外となりますので、次の掲げる記入要領を確認の上、

作成してください

1) 全般的事項

- ①応募書類は片面印刷し、日本語（楷書）で丁寧に全ての欄を記入する
- ②アルファベット使用の場合は活字体、数字は算用数字とする
- ③万年筆又は黒色ボールペンで記入する

2) 一般奨学金申請書（様式 1）

- ①申請種類の新規に「○」を付ける
- ②年齢は2023年10月1日時点を入力する
- ③本国の住所・電話番号は親の居住先、親が居ない場合は帰国時の居住先を入力する
- ④日本の現住所は建物名、部屋番号まで記入する
- ⑤メールアドレスは読み間違いのないように丁寧に記入する
- ⑥在籍大学名等の大学名には、在籍する大学名と課程の入学年月を入力し、所属課程に「○」を付ける
学部欄には学部・学科・年次、大学院欄には研究科・学府名・専攻名・年次を入力し、年次は2023年10月時点とする

3) 履歴書（様式 3-①）

- ①学歴について、高校から2023年10月時点のすべての学校（大学院は課程別）を時系列に記入し、課程及び経歴は該当するものに「○」を付ける
なお、個別塾を除く日本語学習校、研究生、交換留学等もすべて記入する
- ②職歴について、TA・RAやアルバイト歴は含めず過去の職務経歴を記入する
- ③兵役について、制度の有無に「○」を付けて期間を記入し、時期未定の場合は未定に「○」を付ける
- ④資格・賞罰について、有資格の内容を入力し、資格を証する証書の写しを添付する
また、ない場合は「なし」と記入する

4) 身上書（様式 4-①）

- ①家族状況について、父母のほか配偶者・子供・兄弟姉妹も記入し、死亡の場合は年齢欄に「死亡年齢」同居欄に「死亡」と記入する
また、職業欄は会社名（学生の場合は学校名）、役職、仕事内容（死亡の場合は生前の職業）を記入する
- ②経済状況の収入について、TA・RAは「アルバイト」、同居配偶者が留学生で日本政府奨学金・その他の奨学金を受給の場合は「同居家族の収入」、預貯金の取崩しは「その他の収入」に月額を入力し、摘要にその内容を記入する
支出について、住居をシェアしている場合は「住居費」の摘要に自分を除く人数を記入する
また、「食費」の摘要には自炊・外食の主な方に「○」を付け、「水道・光熱費」「学習費」「電話料・その他」の摘要欄には、費用の内訳を記入する
- ③入学金や授業料等は学習費に含めず、「年間授業料」「授業料以外」に減免前の金額（満額）を記入する
- ④日本での身元保証人は成人の一般人に限ることとする。なお、保証人たる知人がいない場合は大学事務局に願います

5) 身上書の別紙（様式 5-①）

①身上書の6 その他、「日本留学の目的」「卒業後の予定および将来希望する進路」について、各200文字以内で記入する
 なお、マス目はできるだけ埋めること

6) 学業状況 (予定) 表 (様式6)

①学部生及び新入大学院生は、学業・研究の概要、卒業要件、単位取得状況、卒業論文、発表の実績 (予定) 等について記入する

なお、該当事項がない場合は「なし」と記し、その理由も記入する

②様式は問わないが、様式6にある記載事項は全て記入する

7) 研究業績 (予定) 表 (様式7)

①大学院生は、研究の内容及び業績、学会発表の実績 (予定) 等を年代の新しい順に記し、著者や発表者が複数の場合は全員の名前を掲載順通りに書き、自分の名前に下線を引き、口頭発表は発表者に*を付記し、公刊論文 (レフリー付) で査読中の場合は、その旨を明記する

なお、研究業績、予定等が無い場合は「なし」と記し、その理由を記入する

また、投稿論文、学会発表資料の上部及び研究業績 (予定) 表に同じ番号を付け、クリップでまとめる (※ホッチキスで綴じないこと)

②下表に該当するものを記入する

公刊論文 (レフリー付・レフリーなし)	論文題目・著者 (全員) ・学術誌名・出版社・ 発表年・巻・ページ (最初と最後のページ)
学術論文	
学術発表 (国内)	論文題目・発表者 (全員) ・学会名・開催場所・ ポスター発表 or 口頭発表・発表年月
学術発表 (海外)	
著書	題目・発表者 (全員) ・出版社・出版年等

※論文コード (DOI) がある場合は記載ください

③様式は問わないが、様式7にある記載事項は全て記入する